

2025. 7. 16

七月例会

日時 令和七年七月十六日(水)

テーマ 東アジア現代史

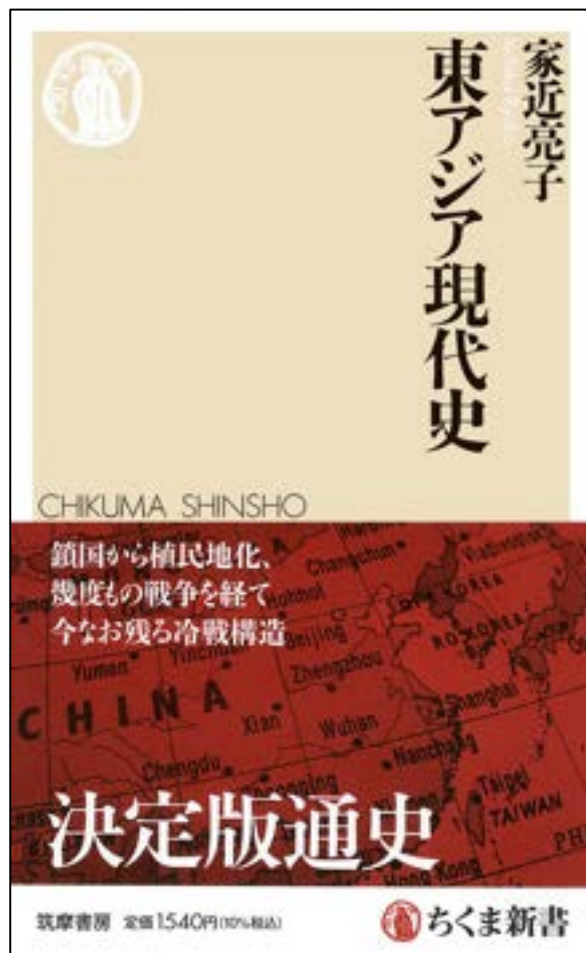
講師 敬愛大学 国際学部 客員教授

家近亮子氏

■ 略 歴

慶應義塾大学文学部東洋史学科・慶應義塾大学法学部政治学科卒業。
慶應義塾大学法学研究科政治学専攻博士課程修了、博士(法学)。
文部科学省教科用図書検定調査審議会委員などを経て現職。著書に『蒋介石と南京国民政府 - 中国国民党の権力浸透に関する分析』(慶應義塾大学出版会、2002年)、『日中関係の基本構造 - 2つの問題点・9つの決定事項』(晃洋書房、2003年)、『蒋介石の外交戦略と日中戦争』(岩波書店、2012年、第8回樫山純三賞受賞)など多数。

家近亮子氏



東アジア現代史, 筑摩書房 (2025/1/10)



現代東アジアの政治と社会, NHK出版; 新訂版(2020/2/1)

2025. 8. 6

八月例会

日時 令和七年八月六日(水)

テーマ 文化人類学、ビジネスに活用

「数字に出ない『文脈』知る

講師 アイデアファンド代表取締役、国際大学GLOCOM主任研究員

大川内直子氏



アイデア資本主義 文化人類学者が読み解く資本主義のフロンティア, 実業之日本社 (2021/9/2)

■ 略 歴

東京大学教養学部卒。同大学大学院より修士号取得。専門分野は文化人類学、科学技術社会論。学術活動と並行して、ベンチャー企業の立ち上げ・運営や、米大手IT企業をクライアントとしたマーケットリサーチなどに携わる。大学院修了後、みずほ銀行入行。2018年、株式会社アイデアファンドを設立、代表取締役役に就任。国際大学グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM)主任研究員、昭和池田記念財団顧問。著書に『アイデア資本主義 文化人類学者が読み解く資本主義のフロンティア』(実業之日本社)。

大川内直子氏



文化人類学、ビジネスに活用 数字に出ない「文脈」知る



今を読み解く: 文化人類学、ビジネスに活用、数字に出ない「文脈」知る, 日本経済新聞 (2025/5/10)

2025. 9. 17

九月例会

日時 令和七年九月十七日(水)

テーマ 帝国と観光——「満洲」ツーリズムの近代

講師 駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授

高媛氏

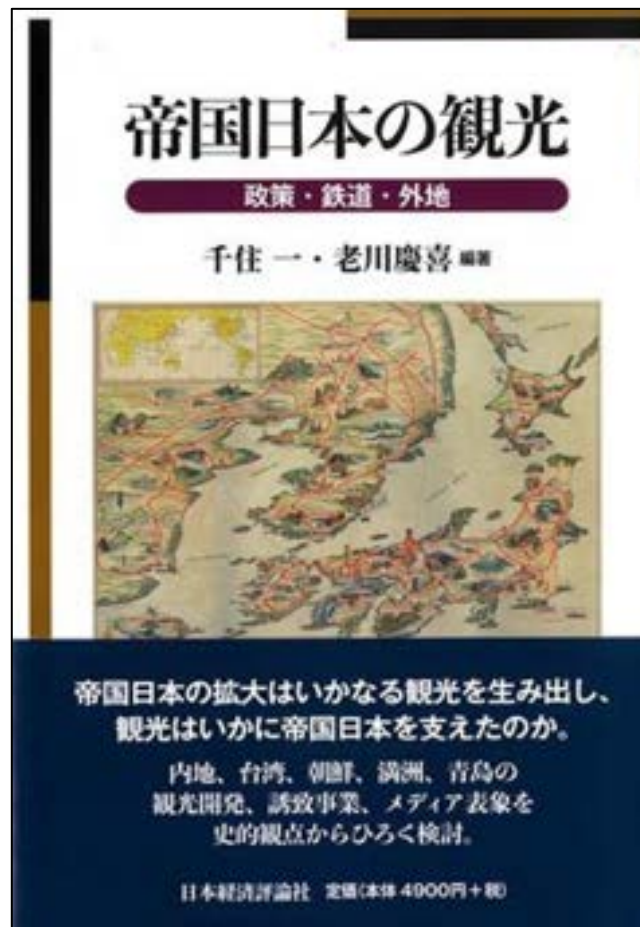
■ 略 歴

1972年、中国北京市生まれ。1994年、吉林大学日本語学部卒業。1995年に来日。2003年、東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得満期退学。2005年、博士号取得(社会情報学、東京大学)。現在、駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授。2011年4～9月、ハーバード大学ライシャワー日本研究所客員研究員。2020年4月～2021年3月、東京大学大学院情報学環・学際情報学府客員教授。専門は、歴史社会学・観光社会学。
単著『帝国と観光——「満洲」ツーリズムの近代』。共著『帝国日本の観光——政策・鉄道・外地』(日本経済評論社、2022)で第16回日本観光研究学会 学会賞・観光著作賞(学術)。

媛氏



帝国と観光——「満洲」ツーリズムの近代,岩波書店 (2025/3/21)



帝国日本の観光——政策・鉄道・外地,日本経済評論社 (2022/3/1)



2025. 11. 12

11月例会

日時 令和七年十一月十二日(水)

テーマ 行動経済学の死

講師 公立はこだて未来大学 複雑系科学科教授

川越敏司氏

■ 略 歴

大阪市立大学大学院経済学研究科前期博士課程修了、博士(経済学)。埼玉大学助手、函館圏公立大学広域連合事務局を経て、公立はこだて未来大学システム情報科学部に講師として着任後、助教授、准教授を経て、2013年より同大学教授、現在に至る。現在、行動経済学会会長を務めるほか、同学会で編集長(2020-2023年)、副会長(2021-2023年)を歴任。専門分野はゲーム理論・実験経済学。著書に『行動経済学の真実』(集英社新書)、『実験経済学』(東京大学出版会)など多数。

敏司氏



行動経済学の死: 再現性危機と経済学のゆくえ,
早川書房 (2025/4/23)



行動経済学の真実, 集英社 (2024/9/17)

2025. 12. 17

十二月例会

日時 令和七年十二月十七日(水)

テーマ 大学授業の国際比較・「対面」への回帰、日本突出

講師 同志社大学 社会学部 教授

山田礼子氏

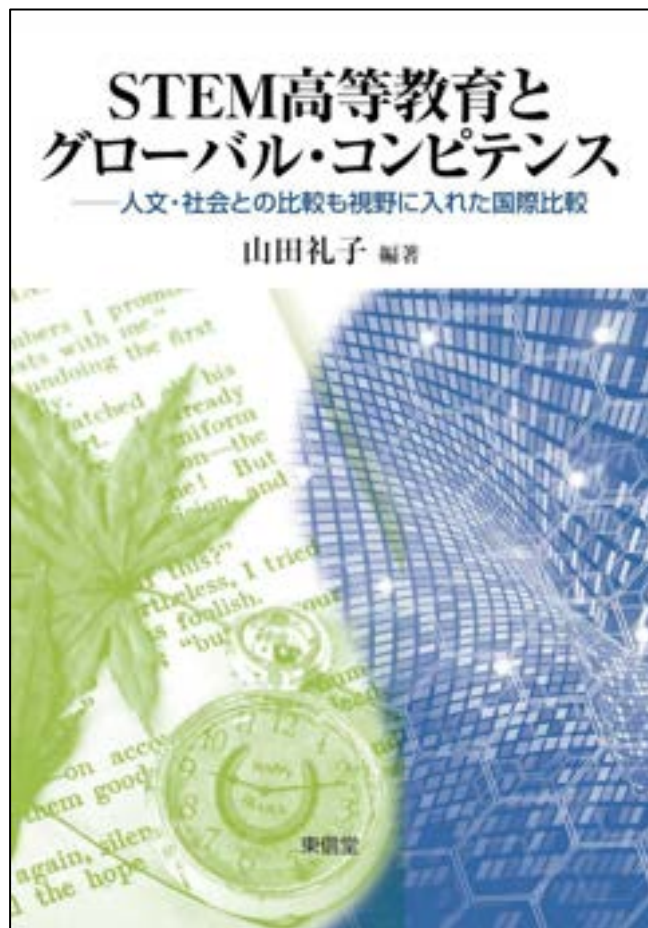
山田礼子氏

■ 略 歴

1978年同志社大学文学部社会学科卒業。1991年カリフォルニア大学ロサンゼルス校教育学大学院博士課程修了。同大学Ph.D.。プール学院大学国際文化学部助教授等を経て現職。専門分野はアメリカの高等教育、初年次教育。『21世紀型リベラルアーツと大学・社会の対話』(東信堂、2024)、『STEM高等教育とグローバル・コンピテンス』(東信堂、2022)、『2040年 大学教育の展望 - 21世紀型学習成果をベースに』(東信堂、2019)など著書多数。



大学授業の国際比較 「対面」への回帰、日本突出、
日本経済新聞 (2025/07/07)



STEM高等教育とグローバル・コンピテンス
東信堂 (2022/11/10)